


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福岡県立三潴高等学校 スポーツ文化コース 1年生 60名 2年生 58名 計118名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (専攻実技) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	陸上競技専門のオリンピックから「走」のトレーニングを学び、学んだことを同級生及び後輩にアウトプットすることにより、より深く理解する。また、教えてもらう多種目の生徒達も「走」のトレーニングを学ぶことで自分の専門種目に活かしたり、オリンピック考案のトレーニングを実践することにより、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成につながっていくようにする。
5 取組内容	○スポーツ文化コース1・2年生118名を対象とし「走」のトレーニングを行った。 全体で本時の説明  (1)前回の授業でそれぞれの課題に応じたグループ分けを行っており、本時の流れを説明したのち、ウォーミングアップにつなげていく。



(2) 300Mグラウンドを周回しハードルを活用しながらウォーミングアップを行う。

(3) その後ストレッチ・体操をいれグループ別に分かれる。



(4) トレーニングの目的やポイントを、陸上部生徒がアウトプットする。





- (5) 実際に体験し、自分の走りにつながるよう意識する。
- (6) 初めて行うトレーニングにより、興味・関心を持つことができる。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上部の生徒はインプットしたことをアウトプットすることにより深く理解することができた。 ○「走」に対する興味、関心の向上、楽しむ心を持つことができた。(アンケート結果から) ○他種目でも自分自身のパフォーマンスの向上にむすびつけることができた。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーニングのグループ分けの際、「走」での自分の課題を考えさせ、課題解決につながるグループに入れることで、より興味、関心を持たせる。 ○陸上部がアウトプットする際に、実際に披露し、具体的なイメージを持たせる。 ○トレーニング後、自分のパフォーマンスにどうつながるか考えさせ、今後の部活動に取り入れやすく整理する。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今回「走」のトレーニングを実践し、アウトプットする生徒の伝え方の難しさ、体験生徒が理解する幅の個人差が大きく見られた。より良くするためには、この一度で終わらず、このような取り組みを継続して行っていくことで、今以上に理解し自分の知識、技能として習得していくと考える。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今回のオリンピック考案「走」トレーニング法を実践し、多くの生徒が自分自身にも興味を持つことができた。来年度も継続して推進事業が実現できたら、オリンピックへのさらなる普及啓発につながっていく。